

2019 年 北海道臨床工学技士会 災害時情報共有訓練 報告

1. 訓練の目的

- ① 現在進めている北海道臨床工学技士会災害時情報共有体制の完成に向けて、技士会メーリングリストを使用した情報収集について確認を行い、課題を明確にする。
- ② 災害時情報共有シートを使用した訓練を行って、災害時に共有すべき情報の確認と周知を行う。
- ③ メーリングリストへ登録されているアドレスから、所属施設の状況をリアルタイムに発信することが可能となっているか、確認する。
- ④ 会員が所属する施設において、被害想定と対策を考えるきっかけとする。

2. 訓練実施日 : 2019 年 3 月 2 日(土) 10:00~12:00

3. 対象 : 北海道臨床工学技士会メーリングリスト登録者

4. 訓練内容

- ① 訓練開始時刻に、道臨工メーリングリストを双方向発信可能となるよう、設定を変更。
- ② 資料「平成 30 年度北海道臨床工学技士会情報共有訓練」の「被害規程」に沿って、危機管理委員会より、各地域の災害内容をメールで送信する。危機管理委員会からメールを発信した時点で、訓練災害が発生したこととする。
- ③ メーリングリスト登録者は、各地域の災害内容から、所属施設の被害を想像し、各施設の想像した被害状況を、「災害時情報共有シート Ver.13」に記載または入力の上、技士会メーリングリストへ送信する。
 - ※ 送信の形式は、EXCEL データ、用紙を写真撮影したデータ、メール本文への入力など、任意の形式で行う。想像した被害状況の中で、送信しやすい方法を選択する。
 - ※ 今回は、2 段階の地震発生を想定したシナリオとする。メーリングリスト登録者は、訓練災害発生時間にメールを再チェックし、想像した被害状況の追加送信を行う。
 - ※ 今回、メーリングリストは常時使用可能であった想定で訓練を行う。

5. メーリングリスト概要

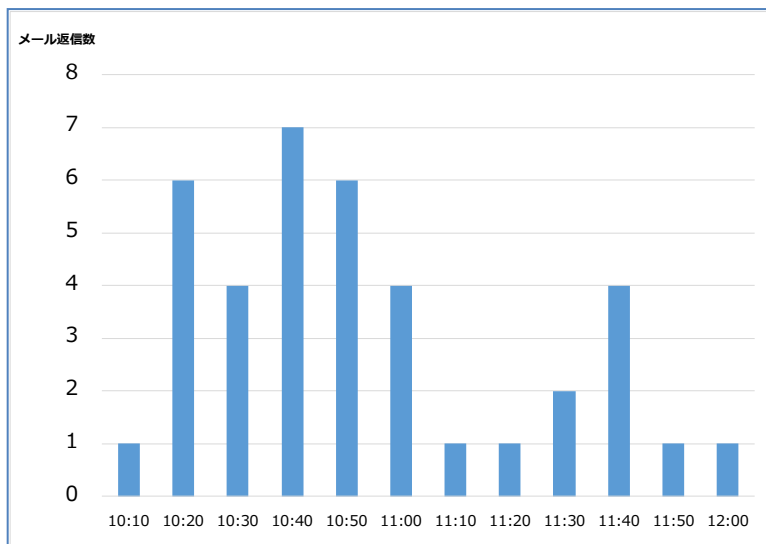
- ① メーリングリスト送信宛先数:494 件
- ② メーリングリスト送信宛先の所属施設内訳
 - 病院 : 198 施設
 - 企業 : 10 社
 - 教育機関 : 6 施設
 - ※ 所属施設更新されていないメーリングリスト登録者が多数みられたため、施設数は推定値

6. 訓練参加施設数(メール返信数で算出)

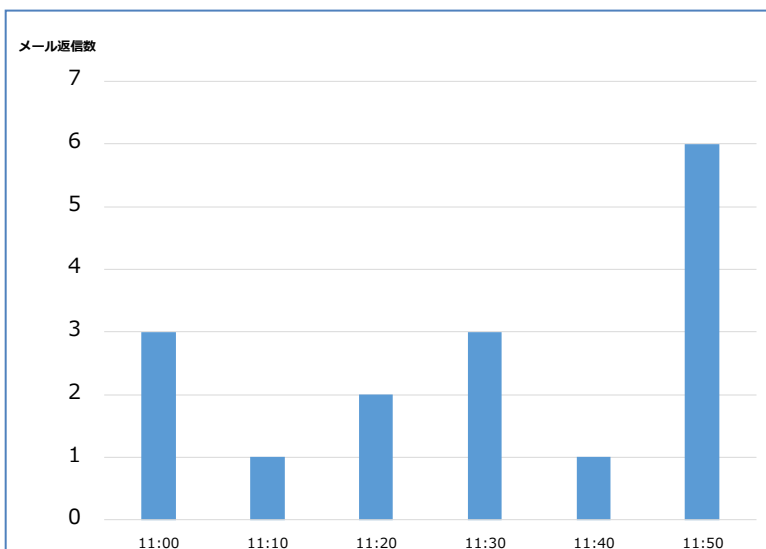
- ① 第1回目返信 : 38 施設
- ② 第2回目返信 : 16 施設

7. 時系列返信状況

- ① 第1回目返信状況



- ② 第2回目返信状況



8. 透析施設所属者の地域別訓練参加率

※ メール返信あった透析施設数で算出

※ 透析施設数は、2018年12月1日現在の北海道発表値

振興局	返信施設数	透析施設数	地域別訓練参加率
石狩	14	114	12%
空知	1	11	9%
後志	0	14	0%
胆振	5	16	31%
日高	0	3	0%
渡島	1	19	5%
檜山	0	3	0%
上川	6	24	25%
留萌	1	4	25%
宗谷	1	4	25%
オホーツク	3	15	20%
十勝	7	23	30%
釧路	3	13	23%
根室	0	3	0%
合計	28	266	15%(平均値)

以上

2019年9月1日
北海道臨床工学技士会
危機管理委員会